

宮坂建設工業が防寒服を一新

より魅力的な企業に

丸山敬太氏の協力のもと



新防寒服（写真中央）がこのほど完成した

デザインは、世界的デザイナーの丸山氏が手がけた。

丸山氏は、パリ・コレクションに出展し、日本航空の客室乗務員の制服をデザインするなど幅広く

【帯広】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）は、世界的ブランド「KEITA MARUYAMA」のデザイナーである丸山敬太氏の協力のもと、現場等の屋外で作業する社員用の防寒服を一新した。いわゆる「K」などの言葉で揶揄されることの多い建設業のイメージを抜本から変えるとともに、社員のモチベーションの向上を図ることなどが狙い。十日から全社一斉に着用を開始した。

ことし創業九十五年を迎えた同社は、五年後の創業百周年を見据え、新たなワークウェアおよび女性社員の制服を四月に導入。テ

活躍。建設作業服・防寒服をデザインするのは、同社が第一号となっている。デザイン選定に当たっては、丸山氏が昨年約一年にわたり、工事現場を直接訪問し、同社社員と意見交換。その上で、新防寒服にはコート・ポロ・カッターのグリーンとイエローを取り入れた。

同社では「このような形で企業イメージを向上させ、新たな顧客、新たな時代に向けた建設業づくりができれば、新ワークウェア、さらには新防寒服を着用し、より魅力的な企業になることを目指して今後も努力していく」と話している。

丸山氏に依頼

防寒服を一新

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は10日から、作業用防寒服を一新した。写真。著名ブランド「KEITA MARUYAMA」の丸山敬太氏によるデザイン。黄色と緑色の「宮坂カラー」で彩られている。



同社では建設業のイメージを根本から変えたいと、日本航空の制服デザインなどを手掛けている丸山氏に作業着などのリ

ニューアルを依頼。4月1日から新デザインの制服と作業着を着用している。「清潔感があり、着心地も良い」と女性社員からも好評だ。

丸山氏は昨年、1年を通じて同社を訪問。冬季の現場にも足を運び、作業性を防寒服のデザインに反映させた。武山純総務部長は「企業イメージがよりアップする。新たな顧客や時代に向けた建設業づくりにつながる」と話している。

丸山さんデザイン 新防寒服を導入

宮坂建設工業

宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）は有名デザイナーの丸山敬太氏がデザインした新しい防寒服の着用を開始した。建設業に対するネガティブなイメージを一新し、社員のやる気にもつなげる狙い。

10月10日から着用している。丸山氏はドリームズ・カム・トゥルーや浜崎あゆみさんの衣装デザインなどで幅広く活躍。同社は今年

4月から、丸山氏がデザインした制服も導入している。

防寒服には同社コーポレートカラーの黄色と緑色をあしらった。防寒性、通気性に加え、実際に丸山氏が現場を訪れて、物が入りやすいようポケットを深く作るなど、作業効率も上がるよう工夫した。

同社は「新しい物を着ることで、社員のモチベーションにつながる

宮坂建設工業が導入した新しい防寒服（中央）

れば」としている。

（中島佑斗）

